

平成19年度
鉄道安全報告書



上田電鉄株式会社

上田電鉄安全報告書

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

1 利用者はじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。当社では、お客さまに安心してご利用いただけるよう、日頃から安全を最優先して取り組んでいます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

上田電鉄（株） 社長 角田朗一

2 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「行動規範」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いをする。
- ⑤ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識をもち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

当社別所線では、過去5年間の鉄道運転事故は、衝突・脱線・火災についてはありませんでしたが、踏切障害事故が6件、自然災害など4件、設備の障害など3件発生し、遅延や運休によりお客さまにご迷惑をおかけしました。

当社における鉄道輸送安全目標

18年度より5年間の鉄道輸送安全目標は次のとおりです。

列車事故 (衝突・脱線・火災)	乗客の死亡を伴う事故を5年間発生させない
人身障害事故	5年間発生させない
踏切障害事故	5年間の発生件数を5件以下とする

3 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 鉄道運転事故

18年度は、踏切障害事故及び輸送障害が2件発生し、お客さまにご迷惑をおかけしました。

①旧道踏切（三好町～赤坂上間）において同踏切道内に進入する乗用車を発見、直ちに非常制動の手配を執りましたが間に合わず、このため4本の運休となりました。乗用車の直前の横断が原因であったためであり、安全運行について皆さまのご協力をお願いします。

②上田原駅構内において、ポイント故障により2本の運休となりました。部品の動作不良があったため直ちに部品の交換をしました。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

18年7月の豪雨により、産川橋梁（下之郷～中塩田間）の橋脚の周囲の土が一部流されましたが、早急に対策を講じ大事にいたりませんでした。

(3) 鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態

18年度は国土交通省へのインシデントの届け出はありません。

(4) 行政指導等

18年10月25日から27日にかけて実施された国土交通省の保安監査で下記事項について改善の指示がありました。

①変電所に取扱者以外の立ち入り禁止する旨の表示をする。

②規定値を外れている電車線の改修をする。

③鑄鉄制輪子の使用は鉄道事業法に基づく手続きを行なう。

④車両の月検査の周期は整備心得に基づき実施する。

⑤係員の身体検査について、適性に管理する。

⑥踏切警報機が適切に動作するよう改善する。

⑦変電所内に可燃物を放置しない。

⑧車両の修繕記録や故障履歴を管理し、保守に活用する。

⑨係員の教育訓練について年間実施計画を定め、実施する。

⑩作業に関する安全マニュアルを定め、作業事故の防止に努める。

以上のことについて講じた措置の状況については、国土交通省にその旨報告しました。

4 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策を定めて取り組んでいます。達成するためには、多くの費用が必要なことから、19年度以降も継続して着実な進捗に努めてまいります。

安全目標項目	重点安全施策の内容	達成度
列車事故の予防	ATSの整備	整備済
	重軌条化	19年度以降も継続実施する
列車事故の予防	コンクリート枕木化	19年度以降も継続実施する
	道床交換	
踏切障害事故の予防	保安設備の更新	19年度以降も継続実施する
災害の予防	風速計の設置	19年度に実施する
その他	車両の更新	20年度までに4編成更新する

(2) 人材教育

- ・新規就業者には各部門担当者により業務に関する教育を実施しています。
- ・電車を運転するには、自動車と同様に「運転免許」が必要です。18年度は、2名が取得しました。今後も養成を図ります。

(3) 異常時の訓練

信号故障を想定し、12月19日、20日に指導通信式の訓練を行いました。(19年6月に踏切障害事故を想定した訓練を実施しました)

(4) 安全のための設備投資

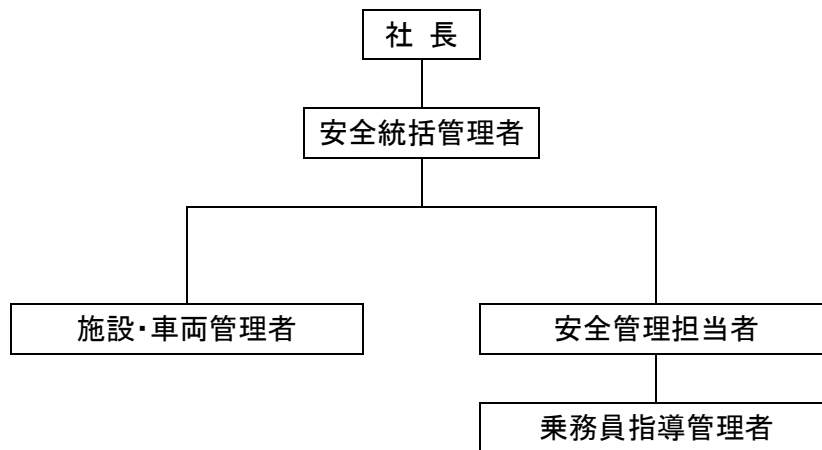
「安全の確保は、輸送の生命である」との認識に立って安全のための投資を行なっています。

単位：千円

	18年度実績	19年度計画
安全投資	120,136	185,654
その他投資	37,430	13,970
設備投資額合計	157,566	199,624

5 当社の安全管理体制

社長	社長は、輸送の安全に関する業務を統括する
常務取締役 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運輸部長 (運転管理者)	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
技術区長 (施設・車両管理)	安全統括管理者の下、施設・車両に関する事項を統括する
駅務区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する



安全確保について一層の強化を図るため毎月全員参加の「業務研究会」を開催し、その意見は管理者へ具体的に反映させてまいります。

6 18年度収支決算について

単位：千円

	鉄道事業	不動産事業	全事業
営業収益	275,822	33,673	309,495
営業費用	305,565	11,976	317,541
営業利益	△29,743	21,697	△8,046
営業外収益	1,733	3	1,736
営業外費用	7,639	471	8,110
経常利益	△35,649	21,229	△14,420
運行経費補助	13,024	0	13,024
差引損益	△22,625	21,229	△1,396
特別利益	101,634	9,408	111,042
特別損失	101,634	0	101,634
税引前当期利益	△22,625	30,637	8,012
法人税等			5,500
当期利益			2,512 (平成17年度 33)

7 ご連絡先

ご意見や感想をお寄せください。

上田電鉄株式会社

長野県上田市下之郷498

TEL 0268-39-7117

■月～金 8:45～17:45 (土日祝日及びお盆、年末年始は除く)

FAX 0268-38-7951

E-mail unyu@ukg.co.jp